

白坂 均 議員



- (一般質問)
- ものづくりマイスター制度について
 - 中小企業等の後継者不足問題について

未来へ引き継ぐものづくり技能！

問 県下有数のものづくり都市を維持するためには、ものづくりの技能やノウハウを再評価し、次世代へ伝えていく必要がある。こうした中、企業が有する技能やノウハウを広く紹介する、ものづくりマイスター制度をどのように活用しようと考えているのか。

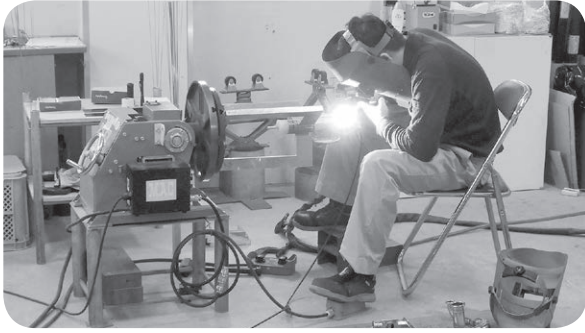
答 人口減少や高齢化が進展する中、中小企業の多くは熟練工を持つ技術の承継や人材育成、人材確保など

の課題を抱えている。

こうした中、ものづくり産業を支える技能や技術の社会的認知度を向上させ、次世代への承継を図る制度として、厚生労働大臣表彰や文部科学大臣表彰、また愛媛マイスターや優秀技能者知事表彰などがある。

本市としては、こうした既存制度を有効活用しながら、中小企業の技術承継や人材育成などを支援していきたい。

また、中小企業に対して、これら制度の積極的な活用を促すとともに、既に受賞している技能者をホームページなどで広くPRしていきたい。



ものづくり産業を支える技能の承継を

井上 浩 二 議員



- (議案質疑)
- (仮称) 子育て支援センター整備事業について
 - 意欲ある畜産担い手応援事業について

ぬくもりあふれる子育ての場に期待！

問 現在、市内には、子育て支援センターが公立保育所内に3か所、私立保育所内に5か所、合計8か所整備されている。こうした中、独立した子育て支援センターが初めて整備されるが、どのような施設内容で、どのような事業を実施することになるのか。

答 (仮称) 子育て支援センターは、木造平屋建て床面積540平方メートル、敷地面積3千333・16平方メートル

ルで、保育所・児童館・交流センターの機能を融合した市内初の複合施設である。

現在、市内8か所で実施している子育て支援センターとしての機能に加え、小松地区では新たに実施することとなる一時保育を行うほか、室内及び屋外遊技場に遊具を整備し、子どもたちと家族が気軽に遊び、交流できる場を提供する。なお、施設の間仕切り壁や屋外のひさしには、本市で初めてCLTを使用することとしており、地域材を活用したCLTの利用普及をPRするとともに、木の温かみを感じながら、和やかに子育てや交流活動ができると考えている。

庁舎内における物品の勧誘・販売のルールは？

問 市庁舎内における職員への政党新聞の勧誘・販売・配達については、どのような手続きを経て行われているのか。

また、職員の職務の中立性を鑑み、市庁舎内における政党新聞をはじめとした物品の販促行為は禁止すべきではないかと思うが、どのように考えているのか。

答 市庁舎内における物品などの勧誘及び販売については、西条市庁舎等管理規則に基づき、市長の許可を得る必要があるが、新聞の配達のような個人契約による個別の配達については、軽易な事項に該当するため、許可申請は必要ない。

市庁舎内における政党新聞などの各種物品の購入は、西条市庁舎等管理規則による適正なルールの下、必要としている職員が個人の判断で契約しているものであり、今後も規則に基づき適切に対応していきたい。

今井 廣 一 議員



- (一般質問)
- 市庁舎内における政党新聞の勧誘・販売について